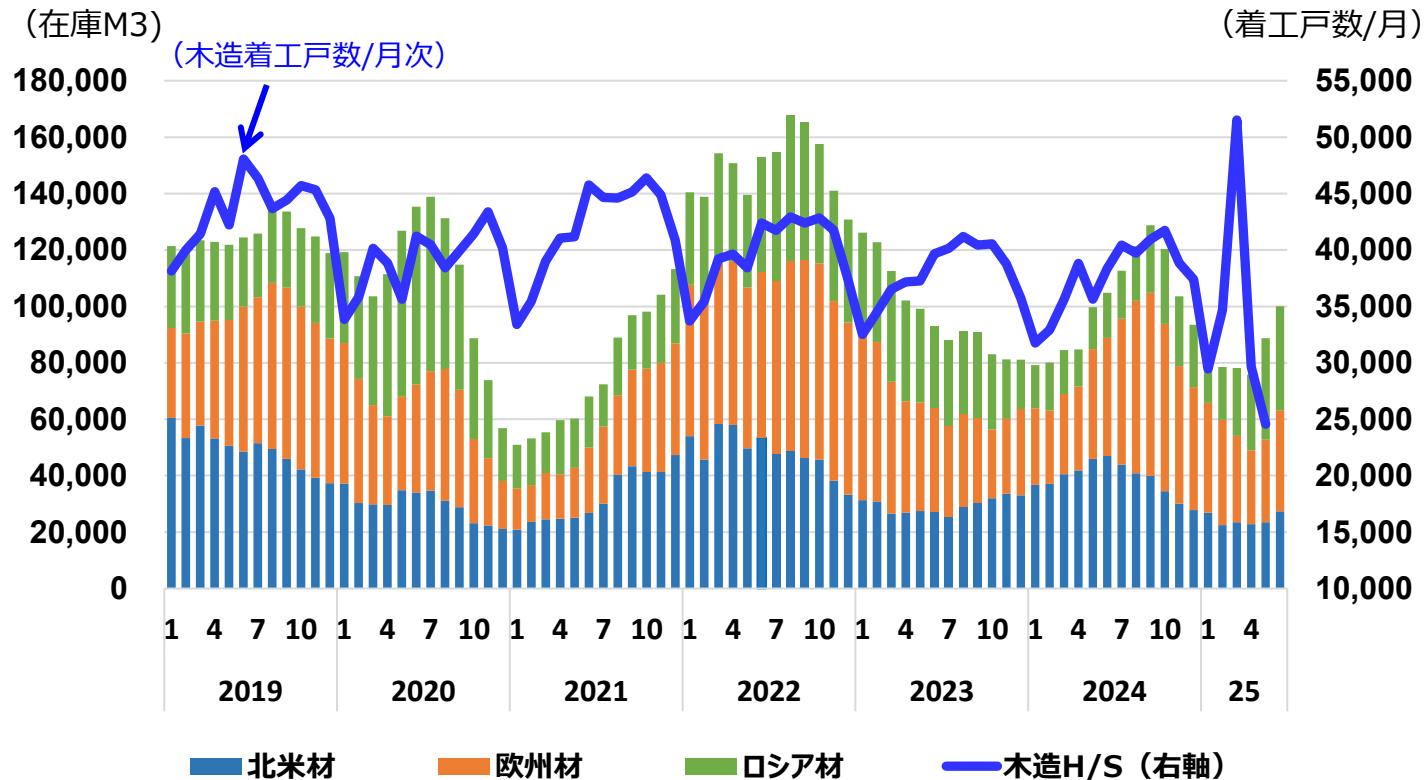


「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019～25年

- 2025年6月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、前月から増加したものの、北米材27,300m³（58%）、欧州材35,932m³（86%）は引き続き低位。ロシア材は、滞留していたコンテナの入荷等を要因として、36,883m³（231%）と増加傾向。
- 2025年5月の木造着工戸数は24,563戸（前年同期比69%）と先月に続き減少。（改正建築基準法による影響を懸念した駆け込み需要の反動減との報道あり。）

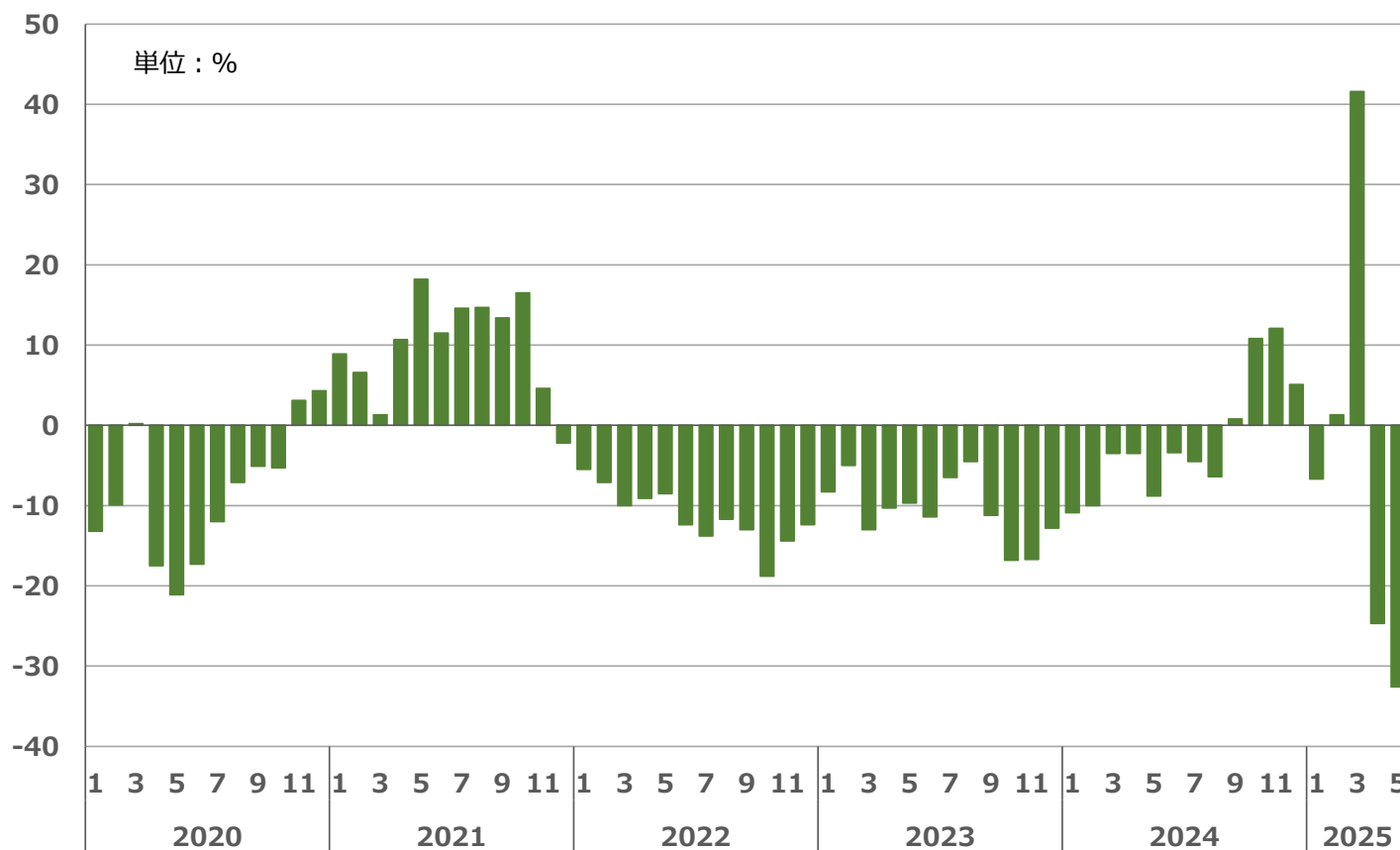


資料：日本木材輸入協会作成（データの出典：東京港在庫「東京木材埠頭（株）」、木造着工数「国土交通省（住宅着工統計）」）

木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

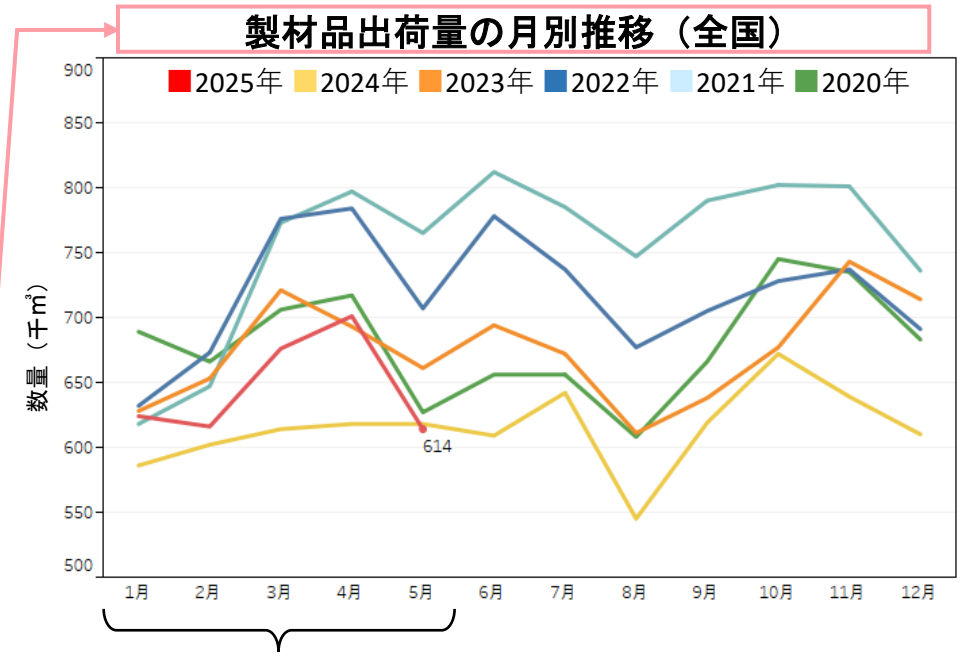
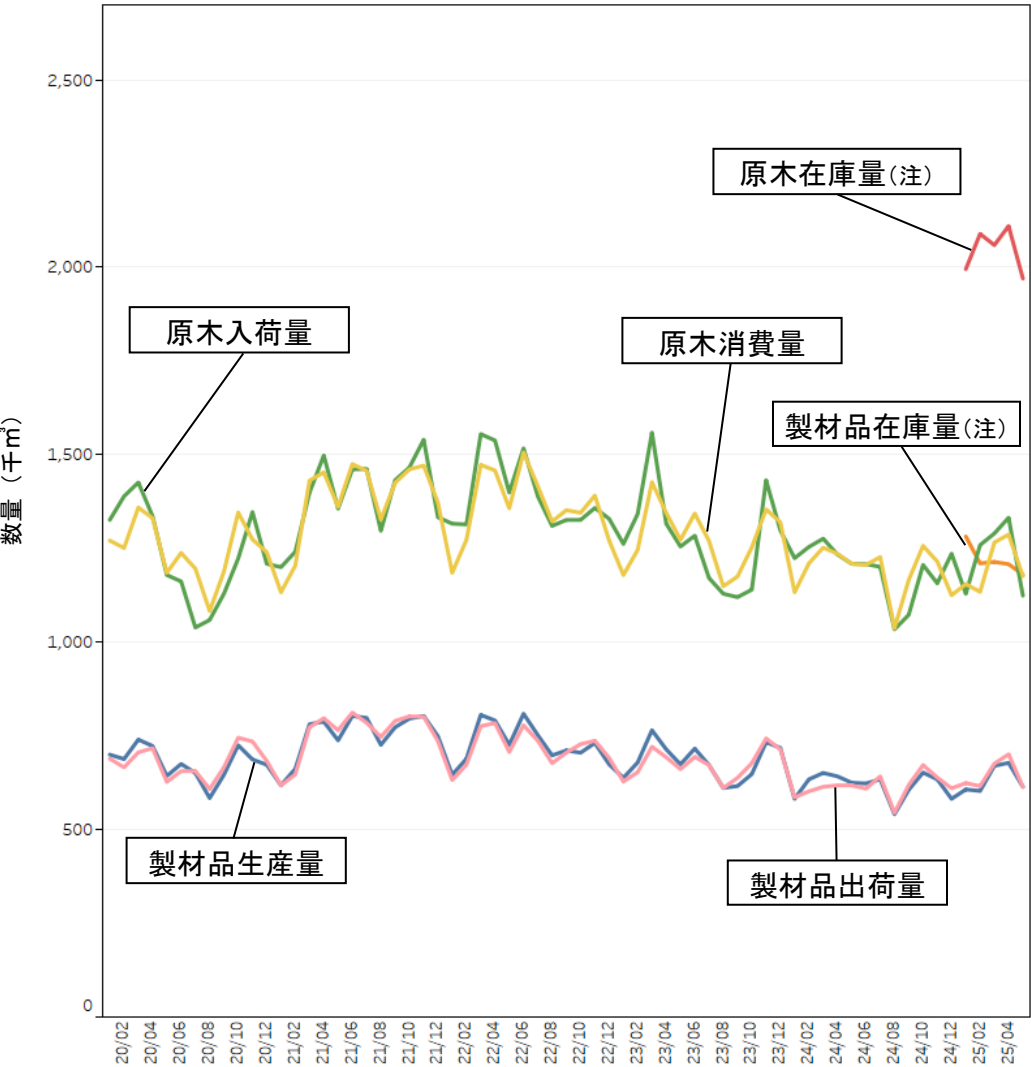
住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

○ 2025年5月の木造持家着工戸数は10,273戸（前年同期比67%）と4月から引き続き減少。（改正建築基準法による影響を懸念した駆け込み需要の反動減との報道あり。）



工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2025年 1～5 月の原木の入荷量は6,134千³m（前年比99%）。
- 同様に製材品の出荷量は3,231千³m（前年比106%）。



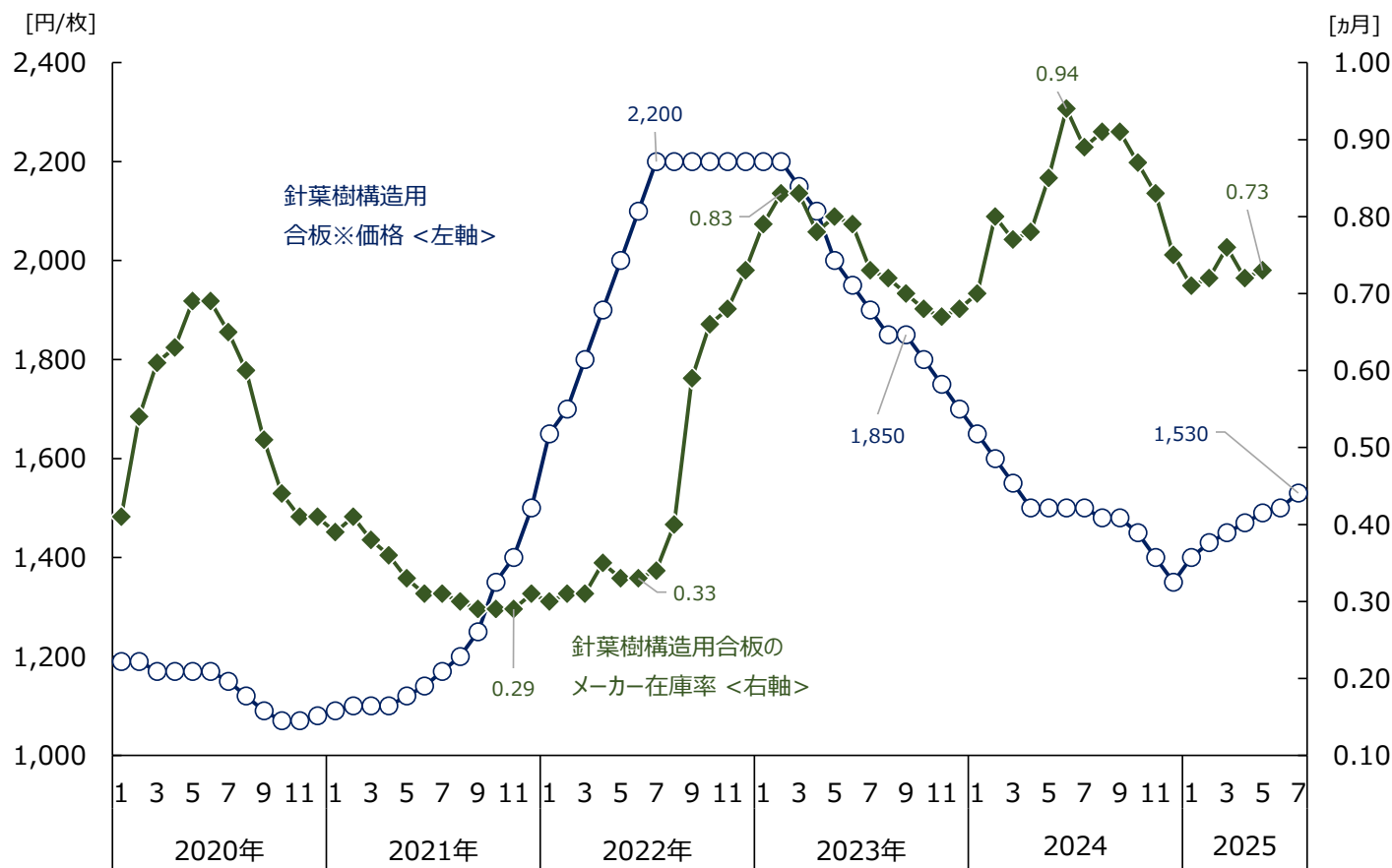
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～5月原木入荷量合計 (千 ³ m)	6,656	6,694	7,122	6,734	6,197	6,134
前年との比較	—	101%	106%	95%	92%	99%
1～5月製材品出荷量合計 (千 ³ m)	3,405	3,600	3,572	3,356	3,038	3,231
前年との比較	—	106%	99%	94%	91%	106%

資料：農林水産省「製材統計」
注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率＝当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2025年5月の在庫率は0.73ヵ月分と4月から0.01ポイント上昇。
- 2025年7月の針葉樹合板価格は1,530円と昨年末以降引き続き上昇。



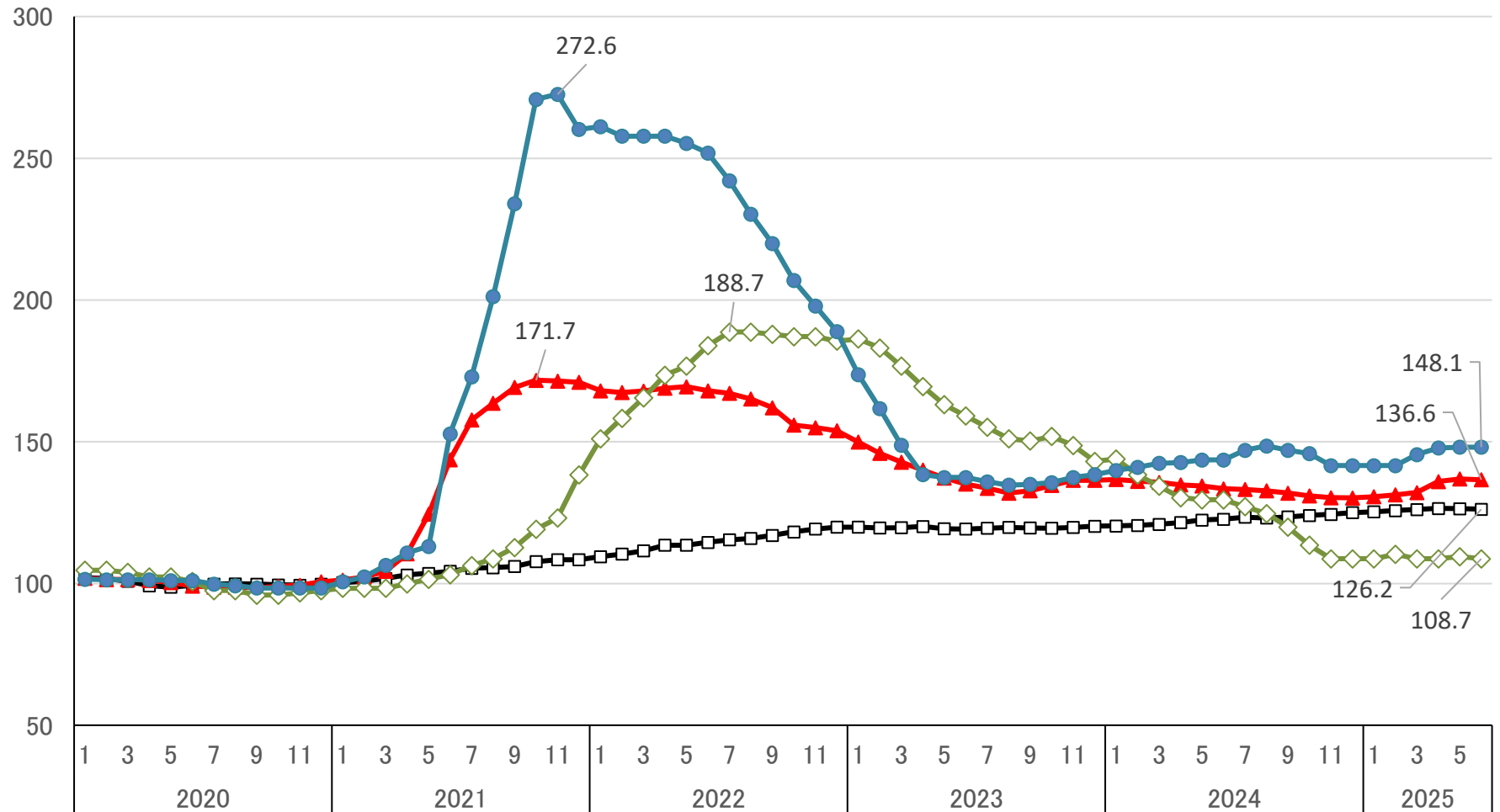
※12.0mm×91cm×182cm、1類

資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

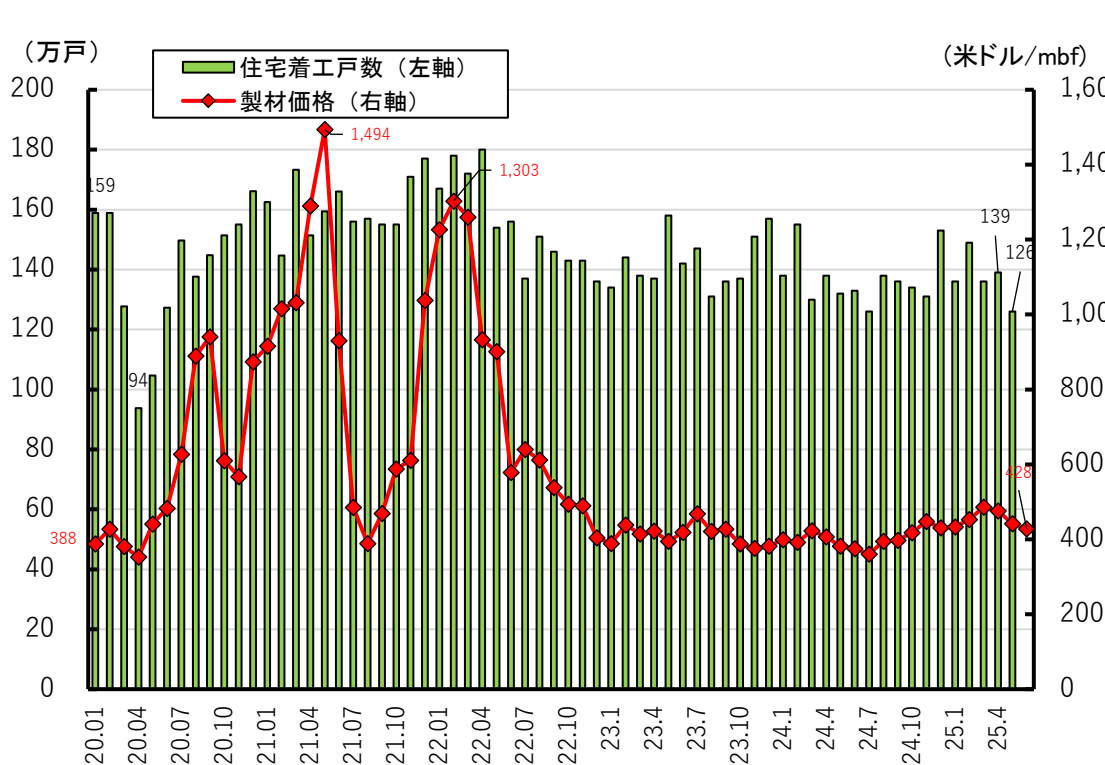
注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

国内企業物価指数の推移（2000年平均＝100）

○ 2025年6月の企業物価指数（先月比）は、製材136.6（－0.3）、集成材148.1（±0）、合板108.7（－0.8）であり、合板は2024年9月以降下げ止まり傾向が見られる。

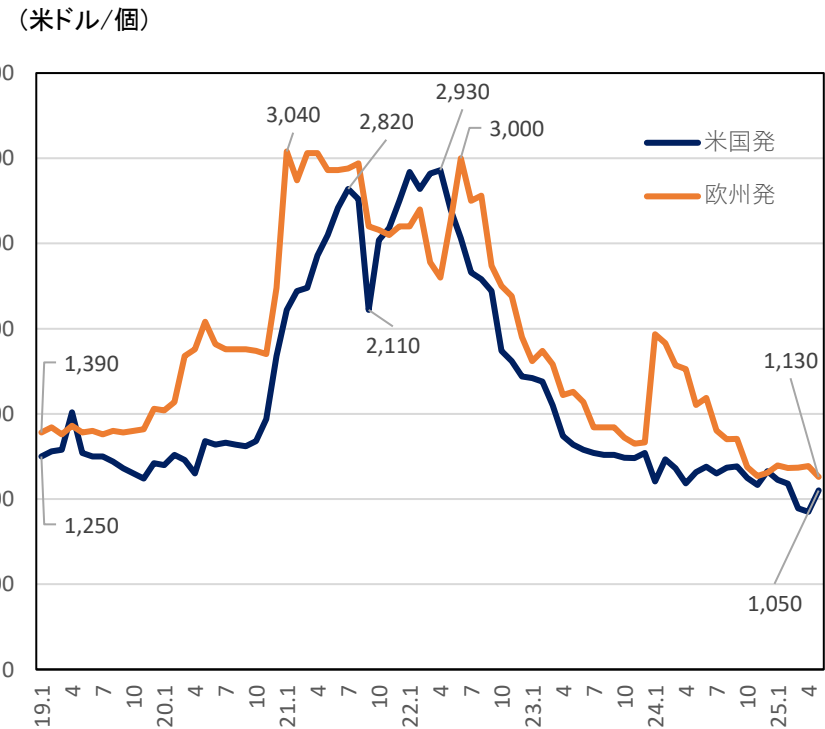


- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130～150万台で推移**。**2025年5月は前月比▲10%減の約126万戸**。
- **北米の木材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2025年6月は424ドル/mbf（前月比▲4%減）**。
- **日本向けコンテナ運賃**は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、**2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。**2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰**。



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年6月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



（注） 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」
資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移